



(報道資料)

平成20年9月17日

NHK広報局

ABUロボコン2008インド・プネ大会 ～日本代表の豊橋技術科学大学はベスト4!～

手作りのロボットのアイデアと技術を競う「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト(ABUロボコン)」が、8月31日、インド・プネにあるマハラシュトラ工科大学で開催されました。この大会は、NHKがABU(アジア太平洋放送連合)の加盟放送機関に呼びかけて始まったもので、2002年に第1回大会を東京で開いて以来毎年開かれ、今年で7回目。今回は、日本を含む16の国と地域から選抜された17チームが、ロボットの性能、アイデア、そしてチームワークを駆使してチャンピオンの座を目指しました。会場には、インドの学生ら、およそ2000人の観客が訪れ、声援を送りました。

今年の競技名は、ヒンドゥー教の神“ゴヴィンダ”の名前が由来です。インドでは、チーズやバターを猫などから守るため、手の届かない高い場所に保存する習慣がありますが、ゴヴィンダが、人間ピラミッドを作って、バターを手に入れたという神話に基づいています。

競技は、フィールド内3か所に設置された高いスタンドに、それぞれバターに見立てた箱を乗せ、対戦するチームが手動ロボットと自動ロボットを駆使して、「バター」の獲得を目指します。3つの「バター」すべてを手に入れたチームが、その時点で勝ちとなります。このほかフィールド内には、「チーズ」などに見立てたボールがあり、それを自分のチームのバスケットに入れると得点が加算されます。



日本代表の豊橋技術科学大学は、準決勝に進出したものの、惜しくもエジプトに敗れてベスト4となり、敢闘賞を受賞しました。

優勝は、中国代表チームの西安交通大学。決勝でエジプトを破り、昨年のハノイ大会に続いて2連覇を達成しました。ABUロボコンで、同じ大学が2年連続で優勝するのは、今回が初めてのことです。

ABUロボコンは、来年、7年ぶりに東京で開かれる予定です。閉会式では、NHKの日向英実放送総局長に開催の旗が引き継がれ、日向総局長は、「来年再び東京で、お会いできるのを楽しみにしています」とあいさつしました。

NHKでは、日本チームを中心に参加各国の学生の奮闘ぶりを紹介するドキュメントを、下記の日程で放送する予定です。

<放送予定> 「稲垣吾郎の がんばれニッポン!ロボコン世界大会」(仮) 出演: 稲垣吾郎 渡辺正行 瀬川瑛子 ビビる大木 ほか 9月23日(火・祝) 総合 午後7時30分～8時43分

ABUロボコンは、NHKが提唱して2002年に始まったABU主催の大会で、アジア・太平洋地域の若いエンジニアを育成し、当地域の発展に貢献すると同時に、共同制作における広範な人材と情報の交流を通じて、アジアの放送文化の向上を推進することが目的です。

来年の東京大会も、どうぞご期待ください。